

## HP OpenVMS Integrity

---

# アップデート・キット VMS84I\_UPDATE- V0900 リリース・ノート

2014 年 7 月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I\_UPDATE-V0900 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

---

© 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HP and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HP nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HP products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

#### DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HP BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HP OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I\_UPDATE-V0900 ECO Cover Letter』と各パッチキットのリリース・ノートの情報を元に作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 キットの概要</b>	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストールの必要性	1-1
1.3.2 リブートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-2
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-2
<b>2 インストールに関する注意事項</b>	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストールのためのコマンド	2-1
2.4 インストール時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-3
<b>3 VMS84I_UPDATE-V0900 キットで解決される問題</b>	
3.1 新機能	3-1
3.2 解決される問題	3-1
3.2.1 DECC\$FD_LOCKING が定義されている場合に CRTL の write() API を使用するアプリケーションがハングする問題	3-1
3.2.2 Bitvise Tunnelier SSH クライアントからのアクセスの際に SSH サーバで ACCVIO が発生する問題	3-2
3.2.3 O_SYNC あるいは O_DSYNC フラグが設定されており DECC\$FD_LOCKING が有効な場合に CRTL の write() が失敗あるいはハングする問題	3-2
3.2.4 CRTL の uname() API がイベントフラグゼロ (0) を待ってハングする問題	3-2
3.2.5 CRTL のシンボリックリンク API readlink() で入力がシンボリックリンクでない場合の動作の問題	3-3
3.2.6 ファイルパス引数に VMS 形式と UNIX 形式が混在する場合に CRTL の lstat() および lchown() API で ACCVIO が発生する問題	3-3
3.2.7 ODS-5 ファイルの変更時に更新日がアップデートされない問題	3-4

3.2.8	BACKUP によるコピー操作で検索リストロジカルを使用した場合にディレクトリ構造が正しくコピーされない問題	3-4
3.2.9	セーブセットのリストア中に BACKUP が SYSTEM-F-ACCVIO を報告する問題	3-4
3.2.10	ディスクからディスクへのイメージバックアップが完了しない問題	3-5
3.2.11	増分リストア中に BACKUP が RMS-F-SYN エラーを報告する問題	3-5
3.2.12	BACKUP-F-COMPINCONERR あるいは SYSTEM-F-ACCVIO エラーで BACKUP コマンドが失敗する問題	3-6
3.2.13	CTRL/Y の実行に続いていくつかの DCL 組み込みコマンドを実行した場合にプロセスがクラッシュする問題	3-6
3.2.14	ユーザープログラムからの LIB\$SPAWN の呼び出しが失敗する問題	3-7
3.2.15	種々の予想外のアクセス違反により対話型プロセスが停止する問題	3-7
3.2.16	JOB_LOGIN 時間に依存するコマンドが予想外の結果を示す問題	3-8
3.2.17	レキシカル関数 FSGETSYI が LCKMGR* sysgen パラメータの正しい情報を返さない問題	3-9
3.2.18	ENCRYPT /AUTHENTICATE が \$STATUS シンボルに ACCVIO を返す問題	3-10
3.2.19	ENCRYPT/AUTHENTICATE で生成されたログファイルをリストする際に TYPE /TAIL が機能しない問題	3-10
3.2.20	エクスポートされる API 周りのコメントの不備	3-11
3.2.21	FC ディスクから OpenVMS をブートしようとした時に Qlogic HBA がフェールしシステムがクラッシュする問題	3-11
3.2.22	SY\$FGEDRIVER+00027E30 での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生する問題	3-12
3.2.23	SY\$DKDRIVER+40A30 での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生する問題	3-12
3.2.24	バックアップ中に発生する LSI1030 Ultra 320 ベースの PCI-e カードでのシステムハング	3-13
3.2.25	クラスタ内通信で ICC を使用中に発生するシステムクラッシュ	3-13
3.2.26	ICC を使用するプロセスに対して STOP/ID を実行した場合に MULDEALNPAG クラッシュが発生する問題	3-14
3.2.27	SY\$IPC_SERVICES における CPUSPINWAIT バグチェック	3-14
3.2.28	VMS84I_IVMSLOA_V0100I キットのインストール後のブートで発生する OpenVMS ゲストコンソールのハング	3-15
3.2.29	PO 領域を使い果たしてジョブ制御プロセスがアボートする問題	3-15
3.2.30	ブート時にジョブ制御プロセスがアボートしてシステムにログインできない問題	3-15
3.2.31	秋時間変更 TQE が見つからない問題	3-16
3.2.32	デバイス制御ライブラリがキューによりアクセスされた場合に状態がアップデートされない問題	3-16
3.2.33	DELETE/ENTRY/LOG コマンドが不完全な情報メッセージを出力する問題	3-17
3.2.34	ドライバからの報告イベントを期待している VLAN デバイス上のユーザが通信できない問題	3-18
3.2.35	総ブロック数が論理ブロック数と異なり 1TB を超えるミニコピーをシャドウセットが受け取らない問題	3-18
3.2.36	LIBOTS 文字列比較ルーチンが返す結果が正しくない問題	3-19
3.2.37	メモリディスク作成時のエラーによるシステムクラッシュ	3-19
3.2.38	RU ジャーナリングが有効なファイルに対してプロセスがレコードの書き込みを完了する前にそのプロセス自体が削除された場合に、一時的に別のプロセスによりそのレコードが読み取り可能になる問題	3-19
3.2.39	DIR/FILE/NOSYM が拡張子のみのファイルをポイントする symlink に対して間違ったファイル ID を表示する問題	3-20

3.2.40	シンボリックリンクを含むワイルドカードが特定の状況下で同じファイルを複数回選択する問題	3-21
3.2.41	RMS リカバリサーバ・プロセスのハング	3-21
3.2.42	スタック拡張中にプロセスがハングし STOP/ID コマンドに反応しなくなる問題	3-21
3.2.43	SYSUAF.DAT で AUDIT フラグを設定したユーザーの監査ログが一部記録されない問題	3-22
3.2.44	SYSSGETDVI あるいは LIBSGETDVI に対する正しくないアイテムコードがエラー動作を引き起こす問題	3-23
3.2.45	長い Unicode ファイル名のファイルで %RMS-F-SYN エラーによりシステムサービス \$GET_SECURITY および \$SET_SECURITY が失敗する問題	3-23
3.2.46	F\$DEVICE がユニット番号 32767 を超える TNA デバイスを表示しない問題	3-23
3.2.47	SYSSUPDSEC_64W で I/O が実行されなかった場合にいつまでも待機状態になる問題	3-24
3.2.48	マルチスレッドアプリケーションが一時的にハングする問題	3-24
3.2.49	ROPRAND フォールトで INSQxIL および REMQxIL ルーチンが失敗する問題	3-25
3.2.50	パケットがノンページプールの通常の境界を越えてシステムクラッシュが発生する問題	3-25
3.2.51	FILCNTNONZ バグチェックによるシステムクラッシュ	3-26
3.2.52	\$GETTIM_PREC() が以前の呼び出し時よりも早い時間を返す問題	3-27
3.2.53	同じプロセス内あるいは別のプロセスからの複数のシグナルを処理する際にまれにプロセスがクラッシュする問題	3-27
3.2.54	断続的な INVEXCEPTN および INCONMMGST バグチェック	3-28
3.2.55	IO_ROUTINES+E0300 での AUDIT_SERVER SSRVEXCEPT クラッシュ	3-29
3.2.56	I64VMS\$PCSI_INSTALL_MIN.COM の実行時にブートオプションの追加が失敗する問題	3-29
3.2.57	authorize ユーティリティで PGFLQUO フィールドの表示が 1 文字分右にシフトするという問題	3-29
3.2.58	BL8x0c i2 あるいは rx2800 i2 で BAP を使い果たしシステムがクラッシュあるいはハングする問題	3-30
3.2.59	rx2800 i2 および BL8x0c i2 で AB552 キーボードが機能しない問題	3-31
3.2.60	rx2800 i2 あるいは BL8x0c i2 のファームウェアアップデート後に仮想キーボード/マウスが機能しない問題	3-31
3.2.61	ファームウェアアップデートで SYSSKBDDRIVER の INVEXCEPTN により OpenVMS システムがクラッシュする問題	3-32
3.2.62	システムリポート後に USB キーボードが機能しなくなる問題	3-32

## 4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

### A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧.....	1-3
-----	---------------------------	-----

## 本書の目的

本書では、VMS84I\_UPDATE-V0900 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

## 対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

## 関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0600 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0800 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 xという表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Return</span>	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 文中のオプションの引数が省略されている。</li><li>• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li><li>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li></ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
( )	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[   ]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば /PRODUCER= <i>name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。



表記法	意味
数字	特に明記しない限り，本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数，8 進数，16 進数) は，その旨を明記してあります。



## キットの概要

### 1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	298965 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	有
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V0800
依存する必須キット:	VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI アップデートキット)
オプションの依存キット:	無し

チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V0900.ZIPEXE Checksum: 1069888539
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V0900--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 3961576018
VMS84I_UPDATE-V0900.ZIPEXE MD5 Checksum:
D1DCDCB064B72642E4B06A7782BEFAEA
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V0900--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
227AC42E63DE0BAF42357AC5244BF8EF
```

### 1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I\_UPDATE-V0900

### 1.3 キットの説明

#### 1.3.1 インストレーションの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストレーション・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情

## キットの概要

### 1.3 キットの説明

報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

#### 1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

#### 1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- OpenVMS for Integrity Servers V8.4

#### 1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新しいハードウェアおよび新機能はありません。

---

## 1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I\_UPDATE-V0800

---

## 1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット (あるいはそれ以降にリリースされた修正キット) をインストールしておく必要があります。

- VMS84I\_PCSI-V0400

---

## 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I\_UPDATE-V0900 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I\_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されれている場合、そのキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_ACRTL-V0200	
VMS84I_BACKUP-V0100	
VMS84I_DCL-V0100	
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_ENCRYPT-V0200	
VMS84I_F11X-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0500	
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0200	
VMS84I_IVMSLOA-V0200	
VMS84I_JOBCTL-V0100	
VMS84I_LAN-V0300	
VMS84I_LOADSS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MIME-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MOUNT96-V0200	
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MUP-V0500	
VMS84I_RAMDISK-V0100	
VMS84I_RMS-V0400	
VMS84I_SHADOWING-V0200	
VMS84I_SORT32-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_SYS-V0300	
VMS84I_SYSLOA-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UAF-V0100	
VMS84I_USB-V0100	



---

## インストールに関する注意事項

---

### 2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

---

### 2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V0900.ZIPEXE
```

---

### 2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用し行ってください。

```
PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE[/SOURCE=キットの場所]
```

## インストールに関する注意事項

### 2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE\_RECOVERY\_DATAオプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にした場合は、PRODUCT INSTALLコマンドで/NOSAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を使用します。/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE修飾子には、このキットが含まれているCDあるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALLと入力することにより参照できます。

---

## 2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が不要ないくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだDCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リブートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- \*.\*\_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALL コマンドで/SAVE\_RECOVERY\_DATA 修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、\*.\*\_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALL コマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャに追加してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V9.0 [/SOURCE=キットの場所]
```

- 割り当てられた論理名を再定義します。



VMS84I\_UPDATE-V0900 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
$!
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V9.0
$!
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT
$!
$ exit
$!
```

---

## 2.5 VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットには VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。



---

## VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題

この章では、VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットで提供されたパッチキットによる修正については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。

過去のアップデートキットのリリースノートについては、第4章を参照してください。

---

### 3.1 新機能

VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットで提供する新機能はありません。

---

### 3.2 解決される問題

VMS84I\_UPDATE-V0900 アップデートキットにより解決される問題を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該問題を解決するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

#### 3.2.1 DECC\$FD\_LOCKING が定義されている場合に CRTL の write() API を使用するアプリケーションがハングする問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明：

DECC\$FD\_LOCKING 論理名が定義されている場合、CRTL の UNIX I/O API は FD ミューテックロックメカニズムを使用して同期を取ります。ただし、CRTL write() API が取得済の FD ミューテックスロックを解除せずに失敗を返す場合があります。この結果、同じ FD の後続の UNIX I/O コールで同じミューテックロックを再度取得しようとするため、ハングが発生するという問題がありました。

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001201953、 75-126-228

3.2.2 Bitwise Tunnelier SSH クライアントからのアクセスの際に SSH サーバで ACCVIO が発生する問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明 :

CRTL readdir() API は、 opendir() API でオープンされた特定のディレクトリ・ストリームのファイルリストを内部的に保持します。このリストは、現在の位置がそのディレクトリストリームの終わりに到達すると解放されます。特定の状況で、現在位置のポインタが既に解放済のアドレスを示す場合があります、この際に ACCVIO が発生するという問題がありました。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001194568、 75-126-227

3.2.3 O\_SYNC あるいは O\_DSYNC フラグが設定されており DECC\$FD\_LOCKING が有効な場合に CRTL の write() が失敗あるいはハングする問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明 :

対象ファイルが O\_SYNC あるいは O\_DSYNC フラグが設定された状態でオープンされ、 DECC\$FD\_LOCKING 論理名が有効な場合に、 CRTL write() が失敗するという問題がありました。これは、すでにロックされている FD ミューテックロックを write() がロックしようとするために発生していました。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している PTR ケース :  
75-13-2448

3.2.4 CRTL の uname() API がイベントフラグゼロ (0) を待ってハングする問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明：

CRTL の `uname()` API は、`sys$getsyiw` システムサービスを呼び出してシステム識別情報を取得します。`uname()`は、イベントフラグ 0 (EFN 0) で、また IOSB (I/O Status Block) 無しで、このシステムサービスを呼び出します。このため同期化にはイベントフラグのみを使用します。AST ルーチンが EFN 0 を使用する場合、AST はすでにイベントフラグを設定しその後クリアしているため、そのプロセスはイベントフラグが設定されるのを待って LEF 状態でハングする可能性があります。

この潜在的な矛盾を回避するために、この API コールで `EFN$C_ENF` と IOSB を使用するように修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001237573、75-126-283

### 3.2.5 CRTL のシンボリックリンク API `readlink()` で入力がシンボリックリンクでない場合の動作の問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明：

CRTL の `readlink()` API は入力ファイル指定がシンボリックリンクでない場合も成功イベントを返していましたが、この場合、本来は `EINVAL` エラーを返すべきです。

本キットで、本来の動作に変更されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している PTR ケース：  
75-126-309

### 3.2.6 ファイルパス引数に VMS 形式と UNIX 形式が混在する場合に CRTL の `lstat()` および `lchown()` API で `ACCVIO` が発生する問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0200

問題の説明：

CRTL の `lstat()` および `lchown()` API のファイルパス引数には、有効な OpenVMS 形式あるいは UNIX 形式のディレクトリ指定を使用できます。無効なファイルパス入力が使用された場合にエラーを返すのがこれらの API の本来の動作ですが、ファイル指定で、たとえば `"/a:[b]"` のように VMS 形式と UNIX 形式を混在させた場合、`lstat()` および `lchown()` で `ACCVIO` を発生する場合があります。

この問題は本キットで解決されています。

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001235387、 75-126-282

### 3.2.7 ODS-5 ファイルの変更時に更新日がアップデートされない問題

キット名 : VMS84I\_BACKUP-V0100

問題の説明 :

BACKUP/LIST/FULL により出力される更新日が正しくないという問題がありました。具体的には、表示される更新日が作成日と同じで、最新の変更日が反映されないという問題です。

この問題は本キットで修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001110273

### 3.2.8 BACKUP によるコピー操作で検索リストロジカルを使用した場合にディレクトリ構造が正しくコピーされない問題

キット名 : VMS84I\_BACKUP-V0100

問題の説明 :

BACKUP コマンドによるコピー操作で入力ファイル指定に検索リストが使用された場合、ディレクトリ構造は正しく作成されますが、すべてのファイルがその親ディレクトリにコピーされるという問題がありました。

この問題は本キットで修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE
- [SYSEXE]BACKUP.EXE

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001195042

### 3.2.9 セーブセットのリストア中に BACKUP が SYSTEM-F-ACCVIO を報告する問題

キット名 : VMS84I\_BACKUP-V0100

問題の説明：

現在の作業ディレクトリ指定が、ルートディレクトリを含む論理名 (rooted directory) と組み合わせて指定されている場合、セーブセットのリストア中に BACKUP が SYSTEM-F-ACCVIO を報告するという問題がありました。

以下に例を示します。

```
S SET DEF SYS$SYSROOT:
$ BACKUP/LOG SYS$SYSDEVICE:[MY_WORK]MY_SAVE.BCK/SAVE -
SYS$SYSDEVICE:[MY_WORK1]
%SYSTEM-F-ACCVIO, access violation, reason mask=00, virtual
address=000000007ABEC000, PC=0000000000000000, PS=00000000
```

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001216049

### 3.2.10 ディスクからディスクへのイメージバックアップが完了しない問題

キット名：VMS84I\_BACKUP-V0100

問題の説明：

ディスクからディスクへのイメージバックアップ操作が完了しないという問題がありました。この問題は、ダイレクト IO カウントの急速な増加と、多数の 1 ブロック読み書き IO を伴って発生します。この際、バックアップのソースディスクには、多数のファイルヘッダ (最大 400000 エクステンツおよび 4500 ヘッダ) を持つ過度に断片化されたファイルが含まれます。

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001217085

### 3.2.11 増分リストア中に BACKUP が RMS-F-SYN エラーを報告する問題

キット名：VMS84I\_BACKUP-V0100

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

増分リストア操作で UCS-2 形式のファイルがリストアされると、下記のようなエラーで処理が失敗するという問題がありました。

`%RMS-F-SYN, file specification syntax error`

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001240622

3.2.12 BACKUP-F-COMPINCONERR あるいは SYSTEM-F-ACCVIO エラーで  
BACKUP コマンドが失敗する問題

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0100

問題の説明：

V8.4 で圧縮形式のセーブセットのリストアあるいはリスト操作を実行すると、BACKUP コマンドが以下のいずれかのエラーで失敗するという問題がありました。

`%BACKUP-F-COMPINCONERR, inconsistent compression indicator in compressed saveset-!AS`

あるいは

`%SYSTEM-F-ACCVIO, access violation, reason mask=00, virtual address=FFFFFFFFB3D3467A, PC=0000000000000000, PS=00000000`

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001146447

3.2.13 CTRL/Y の実行に続いていくつかの DCL 組み込みコマンドを実行した場合  
にプロセスがクラッシュする問題

キット名： VMS84I\_DCL-V0100



問題の説明：

V8.4 で CTRL/Y を実行していくつかのコマンドを実行した後に、CTRL/Y 実行時の文脈に正しく戻らないという問題がありました。このためスタックの破損が発生し、最終的にプロセスがクラッシュするという問題がありました。

たとえば、以下のようにコマンドを実行した場合に、プロセスのクラッシュが発生していました。

```
$ HELP
      CTRL/Y
$ X=1
$ SHOW SYMBOL X
$ CONTINUE
```

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]DCL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001179410

### 3.2.14 ユーザープログラムからの LIB\$SPAWN の呼び出しが失敗する問題

キット名：VMS84I\_DCL-V0100

問題の説明：

ユーザープログラムから呼び出した場合に、以下のようなエラーで LIB\$SPAWN がフェールするという問題がありました。

```
%RMS-F-DEV, error in device name or inappropriate device
type for operation
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]DCL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001203573

### 3.2.15 種々の予想外のアクセス違反により対話型プロセスが停止する問題

キット名：VMS84I\_DCL-V0100

## VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題

### 3.2 解決される問題

問題の説明：

対話型プロセスが以下のようなアクセス違反エラーでフェールする場合があります。

```
%SYSTEM-F-ACCVIO, access violation, reason mask=00, virtual
address=000000000094754, PC=000000006754F4C1, PS=0000001B
```

```
Improperly handled condition, image exit forced.
```

```
Signal arguments: Number = 000000000000005
                   Name = 00000000000000C
                   000000000000000
                   000000000094754
                   000000006754F4C1
                   00000000000001B
```

Register dump:

```
R0 = 000000000000000 R1 = 00000000677C4000 R2 = 000000000000000
R3 = 000000000094754 R4 = 000000007FFCF818 R5 = 000000007FFCF8B0
R6 = 000000000000980 R7 = 000000000000001 R8 = 00000000673AC980
R9 = 0000000067D963E8 R10 = 00000000000067D9 R11 = 00000000673AC994
SP = 00000000673AC880 TP = 0000000067C2A1C8 R14 = 000000006754DBD0
R15 = 000000007FFD06F0 R16 = 000000000000000 R17 = 000000000000001
R18 = 00000000675C67F8 R19 = 00000000673AC988 R20 = 00000000673AC988
R21 = 0000000067D963E8 R22 = 00000000675C67F0 R23 = 00000000673AC9A8
R24 = 000000000000008 R25 = 000000000000003 R26 = 000000000054038
R27 = 00000000673AC988 R28 = 000000000000000 R29 = 00000000673AC920
R30 = 0000000000005FC8 R31 = 000000000030940 PC = 000000006754F4C1
BSP/STORE = 00007FDBFFD46D0 / 00007FDBFFD4470 PSR = 0001213084AE010
IIPA = 000000006754F4C0
B0 = 000000006754DC70 B6 = FFFFFFFF801DC260 B7 = 000000006754DBD0
```

Interrupted Frame RSE Backing Store, Size = 21 registers

```
R32 = 00000000673AC990 R33 = 00000000673AC8C8 R34 = 00000000673AC988
R35 = 00000000673AC994 R36 = 000000000054038 R37 = 000000000010000
R38 = 000000000000000 R39 = 000000000000001 R40 = 00000000677C4000
R41 = 000000000000000 R42 = 00000000673AC9A8 R43 = 000000000054038
R44 = 000000000010000 R45 = 000000006754DC70 R46 = C00000000000287
R47 = 00000000677C4000 R48 = 000000000030940 R49 = 00000000673AC988
R50 = 0000000067D963E8 R51 = 00000000673AC960 R52 = FFFFFFFF803CA580
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]DCL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001226191, QXCM1001240391

### 3.2.16 JOB\_LOGIN 時間に依存するコマンドが予想外の結果を示す問題

キット名：VMS84I\_DCL-V0100

問題の説明：

JOB\_LOGIN 時間に依存するコマンドのいくつかで、予想外の結果を示すという問題がありました。この問題は、サブプロセスからコールされた場合に、JOB\_LOGIN 時間の計算が不正確であったために発生していました。

以下に例を示します。

#### 1. F\$CVTIME レキシカルでの例

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$CVTIME("JOB_LOGIN")
2012-05-22 17:13:51.31
$ SPAWN WRITE SYS$OUTPUT F$CVTIME("JOB_LOGIN")
%DCL-S-SPAWNED, process SWEENEY_2504 spawned
%DCL-S-ATTACHED, terminal now attached to process SWEENEY_2504
1858-11-17 00:00:54.84
%DCL-S-RETURNED, control returned to process SWEENEY
```

#### 2. DIR/SINCE での例

```
$ DIR/DATE=CREATED LOGIN.COM
Directory DKA0:[TEST123]
LOGIN.COM;9 1 5-OCT-2011 12:14:44.41
LOGIN.COM;8 1 22-MAR-2010 10:08:31.36
LOGIN.COM;7 1 22-MAR-2010 10:07:45.18
LOGIN.COM;6 1 22-MAR-2010 10:07:17.63
Total of 4 files, 4 blocks.

$ DIR/DATE=CREATED LOGIN.COM/CREATED/SINCE=JOB_LOGIN
%DIRECT-W-NOFILES, no files found
$ SPAWN DIR/DATE=CREATED LOGIN.COM/CREATED/SINCE=JOB_LOGIN
%DCL-S-SPAWNED, process TEST123__35318 spawned
%DCL-S-ATTACHED, terminal now attached to process TEST123__35318

Directory DKA0:[TEST123]

LOGIN.COM;9 1 5-OCT-2011 12:14:44.41
LOGIN.COM;8 1 22-MAR-2010 10:08:31.36
LOGIN.COM;7 1 22-MAR-2010 10:07:45.18
LOGIN.COM;6 1 22-MAR-2010 10:07:17.63

Total of 4 files, 4 blocks.
%DCL-S-RETURNED, control returned to process TEST1 23__35922< br>$
```

関係するイメージ：

- [SYSEXE]DCL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001218013

### 3.2.17 レキシカル関数 F\$GETSYI が LCKMGR\* sysgen パラメータの正しい情報を返さない問題

キット名：VMS84I\_DCL-V0100

## VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題

### 3.2 解決される問題

問題の説明：

レキシカル関数 F\$GETSYI が LCKMGR\*ファミリーのアイテムコードを不適切にフォーマットするという問題がありました。この値が奇数に設定されている場合は TRUE を返し、そうでない場合は FALSE を返します。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]DCL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001196103、QXCM1000472401

#### 3.2.18 ENCRYPT /AUTHENTICATE が\$STATUS シンボルに ACCVIO を返す問題

キット名：VMS84I\_ENCRYPT-V0200

問題の説明：

下記のコマンドを実行した場合、正常終了したように見えますが、\$STATUS シンボルに返される値は%x1000000C (accvio) です。

```
$ ENCRYPT/AUTHENTICATE/AES=AES128/SECURITY=filename -  
_ $ /DATABASE=filename/UPDATE /out=outfilename -  
_ $ FileList /Multiple TEMPKEY
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001260584

#### 3.2.19 ENCRYPT/AUTHENTICATE で生成されたログファイルをリストする際に TYPE /TAIL が機能しない問題

キット名：VMS84I\_ENCRYPT-V0200

問題の説明：

TYPE /TAIL/CONTINUOUS は、以下のコマンドで作成されたログファイル (出力ファイル) に対しては機能しないという問題がありました。

```
$ ENCRYPT/AUTHENTICATE/AES=AES128/SECURITY=filename -  
_ $ /DATABASE=filename/UPDATE /out=outfilename -  
_ $ FileList /Multiple TEMPKEY
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001260598

### 3.2.20 エクスポートされる API 周りのコメントの不備

キット名：VMS84I\_ENCRYPT-V0200

問題の説明：

HP が提供する encrypt\$examples:encrypt\_def.\*ファイルのコメントが、エンドユーザーがこれらのサンプルファイルを簡単に使用するには十分でないという問題がありました。

ENCRYPT\_DEF.PLI およびその他の ENCRYPT\_DEF ヘッダファイルを通してエクスポートされる API に関して十分なコメントを提供するように変更されています。

これにより、これらの API をエンドユーザーが使いやすくなっています。

関係するイメージ：

- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.R32

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001168670

### 3.2.21 FC ディスクから OpenVMS をブートしようとした時に Qlogic HBA がフェールしシステムがクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500

問題の説明：

Qlogic ラインタイムドライバーがデバイスから UDID を取り出せないという問題がありました。このため、"Report device identifier" コマンドに対する SCSI CDB (コマンド記述子ブロック) が正しく作成されず、本来より短いアロケーション長が送られていました。

この問題は解決されています。

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.STB

この問題を報告している PTR ケース :  
75-13-2522

3.2.22 SYS\$FGEDRIVER+00027E30 での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生する問題

キット名 : VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500

問題の説明 :

SYS\$FGEDRIVER による書き込み操作時のマッピングエラーが原因で、SYS\$FGEDRIVER+00027E30 での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生するという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.STB

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001242876、QXCM1001242727、QXCM1001210297

3.2.23 SYS\$DKDRIVER+40A30 での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生する問題

キット名 : VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500

問題の説明 :

1TB 以上のディスクを使用している場合に、SYS\$DKDRIVER での INCONSTATE バグチェックでシステムクラッシュが発生するという問題がありました。このクラッシュは、デバイスの保留キューにある読み/書き要求の再実行要求によって、DKDRIVER ドライバーが、ディスクに送られた I/O 要求の最適化を行なおうとし、次にサービスに最適な要求を決定する際に発生していました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001232829

### 3.2.24 バックアップ中に発生する LSI1030 Ultra 320 ベースの PCI-e カードでのシステムハング

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500

問題の説明：

この問題は SYSSPKMDRIVER で発見されたもので、スキャッタギャザーエントリ-における位置の正しくないチェーンエレメントオフセットにより発生していました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYSSPKMDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSSPKMDRIVER.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001246473、QXCM1001246705

### 3.2.25 クラスタ内通信で ICC を使用中に発生するシステムクラッシュ

キット名：VMS84I\_IPC-V0200

問題の説明：

アプリケーションがクラスタ内通信に SYSS\$ICC サービスを使用する際に、次のような状態でシステムがクラッシュする場合があります。

```
Crash Time:      17-OCT-2012 15:15:18.34
Bugcheck Type:  INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL
Node:           CPU Type:      HP BL860c (1.67GHz/9.0MB)
VMS Version:    V8.4
Failing PC:     FFFFFFFF.80DAF871  IPC$$DEALLOCATE_IPB_C+000D1
```

この問題は、接続解除イベントの着信時に接続を処理しクリーンアップを行う方法に原因がありました。

このクラッシュは、リンクに関する接続解除の着信を受け取り、ICC/IPC がこの接続解除イベントを同期送信後に処理するタイミングによって、発生する可能性があります。この接続解除により、そのリンクを定義するデータ構造体の割り当て解除とクリーンアップが行われます。このクラッシュは、既に割り当て解除となった構造体を使用して接続解除イベント後に実行される同期送信の完了によって発生していました。また、イベントのタイミングによっては IPC データ構造体が二重に割り当て解除となり、これによりシステムがクラッシュする場合もありました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.STB

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

この問題を報告している Quix ケース :

QXCM1001231801、 QXCM1001231993、 QXCM1001233937、  
QXCM1001234432、 QXCM1001247182、 QXCM1001248062、  
QXCM1001257864、 QXCM1001259213

3.2.26 ICC を使用するプロセスに対して STOP/ID を実行した場合に  
MULDEALNPAG クラッシュが発生する問題

キット名 : VMS84I\_IPC-V0200

問題の説明 :

TRANSCEIVE を発行し SYSSICC\_REPLY からのデータを待っているプロセスに対して STOP/ID を実行し、 4096 を超えるサイズのユーザデータバッファを使用していると、 ノンページプール破損を引き起こす MULDEALNPAG により、 システムがクラッシュする場合があります。

SDA> clue crash

Crashdump Summary Information:

```
-----  
Crash Time:          5-JUL-2013 09:50:38.00  
Bugcheck Type:      MULDEALNPAG, Multiple deallocation of nonpaged pool  
Node:               VMEP01 (Cluster)  
CPU Type:           HP BL860c i2 (1.60GHz/5.0MB)  
VMS Version:        V8.4  
Current Process:    AD_PG_GSM_0A37  
Current Image:      DSA100:[SYS2.SYSCOMMON.] [SYSEXE] WSI$SERVER.EXE;2  
Failing PC:         FFFFFFFF.80160970 EXE_STD$CREDIT_BYTCNT_C+000C0  
Failing PS:         00000000.00000200  
Module:             SYSTEM_PRIMITIVES (Link Date/Time: 7-JAN-2013 11:47:09.29)  
Offset:             00140970
```

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.STB

この問題を報告している Quix ケース :

QXCM1001286789

3.2.27 SYSS\$IPC\_SERVICES における CPUSPINWAIT バグチェック

キット名 : VMS84I\_IPC-V0200

問題の説明 :

SCHED スピンロックを待っている間に、 CPUSPINWAIT バグチェックでシステムがクラッシュするという問題がありました。この問題は、 AST キューの不適切な同期によるものです。

この問題は本キットで解決されています。



関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.STB

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001219776

### 3.2.28 VMS84I\_IVMSLOA\_V0100I キットのインストール後のブートで発生する OpenVMS ゲストコンソールのハング

キット名 : VMS84I\_IVMSLOA-V0200

問題の説明 :

OpenVMS をゲストとして実行している HPVM 環境において、VMS84I\_IVMSLOA\_V0100 キットをインストールした後のシステムブートでコンソールがハングする (VM が OPA 接続を失う) という問題がありました。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001295294

### 3.2.29 PO 領域を使い果たしてジョブ制御プロセスがアボートする問題

キット名 : VMS84I\_JOBCTL-V0100

問題の説明 :

ジョブ制御プロセスが、プロセスの削除をチェックするために大量の着信メッセージを処理しようとして PO 領域を使い果たし、アボートするという問題がありました。これは非常に稀な状況で発生する問題でしたが、現在はジョブ制御プロセスにより適切に処理されます。

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ :

- [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

この問題を報告している PTR ケース :  
QXCM1001140129

### 3.2.30 ブート時にジョブ制御プロセスがアボートしてシステムにログインできない問題

キット名 : VMS84I\_JOBCTL-V0100

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

マウントされていないディスク上にライセンスデータベースが存在する場合、システムブート時にジョブ制御プロセスがアボートしてシステムにログインできないという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001164783

### 3.2.31 秋時間変更 TQE が見つからない問題

キット名：VMS84I\_JOBCTL-V0100

問題の説明：

クラスタ内でノードがリブートされた時に、断続的に、JOB\_CONTROL プロセスで春時間あるいは秋時間の変更に関する TQE が見つからないという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：

QXCM1001126382

### 3.2.32 デバイス制御ライブラリがキューによりアクセスされた場合に状態がアップデートされない問題

キット名：VMS84I\_JOBCTL-V0100

問題の説明：

印刷時に使用されるデバイス制御ライブラリは、最初の印刷ジョブによりオープンされます。ジョブが完了した後もこれらのライブラリがオープンされたままになりライブラリに対する修正が行われないという問題がありました。これらのライブラリは、キューが停止した場合のみクローズされていました。

以下に例を示します。

```
$ SHOW QUEUE / FULL
Printer queue PRINTER1, idle, on KU2S4::"PRINTER1",
mounted form DEFAULT
/BASE_PRIORITY=4 /DEFAULT=(FEED,FORM=DEFAULT) /LIBRARY=PCL Lowercase
/OWNER=[SYSTEM] /PROCESSOR=TCPIP$TELNETSYM
/PROTECTION=(S:M,O:D,G:R,W:S)
$
$ PRINT/QUEUE=PRINTER1/SETUP=PCL_LANDSCAPE HELLO.TXT
Job HELLO (queue PRINTER1, entry 1) started on PRINTER1
$
$ SHOW QUEUE
Printer queue PRINTER1, idle, on KU2S4::"PRINTER1",
mounted form DEFAULT
$
$ SHOW ENTRY
%JBC-E-NOSUCHENT, no such entry
$
$ PIPE SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE/FILE | SEARCH SYS$PIPE PCL
TCPIP$TNS1      000006BE [VMS$COMMON.SYSLIB]PCL.TLB;2
$
$ LIBRARY /INSERT SYS$LIBRARY:PCL.TLB TEST.TXT
KU2S4::SYSTEM 17:12:12 LIBRARIAN CPU=00:00:00.46 PF=2624 IO=3261 MEM=365
%LIBRAR-F-OPENIN, error opening SYS$COMMON:[SYSLIB]PCL.TLB;2 as input
-RMS-E-FLK, file currently locked by another user
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001203836、75-74-385

### 3.2.33 DELETE/ENTRY/LOG コマンドが不完全な情報メッセージを出力する問題

キット名：VMS84I\_JOBCTL-V0100

問題の説明：

エントリー番号が7桁を超えた場合、DELETE/ENTRY/LOG コマンドに対して不完全な情報メッセージが表示されるという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]QUEMAN.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1000893449

### 3.2.34 ドライバからの報告イベントを期待している VLAN デバイス上のユーザが通信できない問題

キット名：VMS84I\_LAN-V0300

問題の説明：

VLAN ドライバで適切に機能していなかった報告イベントの機能に対して大きな変更が行われています。この変更により、物理デバイスあるいは論理 (VLAN) デバイスに関連付けられた論理チャネルに対する物理リンク状態が UP の場合、すべての VCI ユーザは PORT\_USABLE\_UP イベントを受け取り、リンクが DOWN の場合は PORT\_UNUSABLE イベントを受け取ります。以前の動作では、VCI ユーザはリンク状態に関係なく PORT\_USABLE\_ALWAYS イベントを受け取っていました。

関係するイメージ：

- [SYSSLDR]SYSS\$VLANDRIVER.EXE
- [SYSSLDR]SYSS\$VLANDRIVER.STB
- [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001187177、75-126-307

### 3.2.35 総ブロック数が論理ブロック数と異なり 1TB を超えるミニコピーをシャドウセットが受け取らない問題

キット名：VMS84I\_MOUNT96-V0200

問題の説明：

ディスマウントされているメンバーを /policy=minicopy を使用してシャドウセットにマウントすると、このメンバーの論理ボリュームサイズがマスターメンバーの最大ブロック数と比較されます。そのメンバーの論理ボリュームサイズがマスターメンバーの最大ブロック数を超えなければ、mount コマンドはミニコピー操作でそのメンバーをシャドウセットに追加します。マスターメンバーの最大ブロック数を超える場合は、mount コマンドによるシャドウセットへのメンバーの追加が失敗します。

ディスクのサイズが 1TB を超える場合は上記の比較処理が期待どおりに行われずに失敗するため、ディスマウントされていたメンバーあるいは INIT コマンドの 2 番目のメンバーの追加にはフルコピーを使用する必要がありました。

1 TB サポートにより、最大ブロック数との比較を行うすべてのコードが、符号無しオペレータを使用するように変更されていますが、このコードの追加が漏れていました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001306600

### 3.2.36 LIBOTS 文字列比較ルーチンが返す結果が正しくない問題

キット名：VMS84I\_MUP-V0500

問題の説明：

OpenVMS OTS ライブラリの文字列比較ルーチン OTS\$STRCMP\_LSSP および OTS\$STRCMP\_LEQP の返す値が、特定の文字列パターンの場合に正確でないという問題がありました。

この問題は、OpenVMS V8.4 に VMS84I\_UPDATE-V0500 以降を適用していた場合に発生していました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]LIBOTS.EXE
- [SYSLIB]LIBRTL.EXE
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SY\$SLDR]SY\$BASE\_IMAGE.EXE
- [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001255185、75-136-2

### 3.2.37 メモリディスク作成時のエラーによるシステムクラッシュ

キット名：VMS84I\_RAMDISK-V0100

問題の説明：

インメモリディスクの作成中に発生する予想外のエラーにより、IRP および 576 バイトのロックアサイド・リストに関するノンページプールの破損が発生していました。これにより、システムクラッシュが発生する場合があります。

関係するイメージ：

- [SY\$SLDR]SY\$MDDRIVER.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001205669、75-126-230

### 3.2.38 RU ジャーナリングが有効なファイルに対してプロセスがレコードの書き込みを完了する前にそのプロセス自体が削除された場合に、一時的に別のプロセスによりそのレコードが読み取り可能になる問題

キット名：VMS84I\_RMS-V0400

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

Ru ジャーナリングが有効なファイルに対して書き込みプロセスがレコードを書き込み、読み取りプロセスが同じファイルをオープンして、RAB 構造体に RABSV\_RRL (read regardless) フラグの設定によりそのファイルから定期的にレコードを読み取るようなシナリオを考えます。

このようなシナリオで、レコードを書き込んだ後、この処理が確定する前に、DCL コマンドの STOP/ID など書き込みプロセスが削除された場合、読み取りプロセスが同じレコードを読むことができ、%RMS-E-RNF, record not foundあるいは%RMS-S-OK\_RRL, record locked against read but read anywayではなく、%RMS-S-NORMAL, normal successful completionの戻り状態を受け取るという現象が発生していました。(DCL コマンドなどを使用して) ファイルが明示的に回復されると、その読み取りプロセスはレコードを読み取るのを中止します。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE
- [SYSS\$LDR]RMS.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001188022

3.2.39 DIR/FILE/NOSYM が拡張子のみのファイルをポイントする symlink に対して間違ったファイル ID を表示する問題

キット名：VMS84I\_RMS-V0400

問題の説明：

拡張子のみのファイル名を持つファイルをポイントする symlink にアクセスした場合、そのファイルにアクセスする代わりに、そのファイルの親ディレクトリにアクセスするという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE
- [SYSS\$LDR]RMS.STB

この問題を報告している PTR ケース：  
75-120-1618

### 3.2.40 シンボリックリンクを含むワイルドカードが特定の状況下で同じファイルを複数回選択する問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0400

問題の説明：

シンボリックリンクを含むようなワイルドカードを指定して DIR コマンドを実行すると、同じファイルが複数回表示されるという問題がありました。この問題は、DIR コマンドのワイルドカード指定の対象となるファイルの中に、ディレクトリは異なるが同じファイル名を持つものがあるような状況で発生してしまいました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]RMS.EXE
- [SYS\$LDR]RMS.STB

この問題を報告している PTR ケース：  
75-130-18

### 3.2.41 RMS リカバリサーバ・プロセスのハング

キット名： VMS84I\_RMS-V0400

問題の説明：

多数のプロセスで RU ジャーナリングが有効なオープンファイルを処理している場合、いずれかのプロセスがクラッシュすると、リカバリサーバ・プロセス (RMSREC\_pid あるいは RMSREC\_SERVER) が HIB 状態でハングする原因となります。

クラスタ環境では、いずれかのノードで問題が発生するとこの現象が発生する可能性があります。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]RECOVER.EXE
- [SYSEXE]RMSREC\$SERVER.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001135962

### 3.2.42 スタック拡張中にプロセスがハングし STOP/ID コマンドに反応しなくなる問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0300

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

特定の状況下で、プロセスのユーザースタックが満杯になりそれ以上拡張できなくなると、プロセスがハングするという問題がありました。この場合、STOP/ID コマンドでプロセスを停止させたり実行イメージを終了させることができませんでした。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]EXCEPTION.EXE
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION.STB
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION\_MON.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001139830、75-126-160

3.2.43 SYSUAF.DAT で AUDIT フラグを設定したユーザーの監査ログが一部記録されない問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

SYSUAF.DAT でユーザーに対して AUDIT フラグを設定することによりユーザーアクティビティを監視することができますが、ファイルオープンなど、いくつかの監査イベントが記録されないという問題がありました。

この問題は解決されています。

---

注意

---

この修正の副作用として、ユーザーの SYSUAF.DAT レコードに AUDIT フラグを設定している場合、生成される監査エントリー数が増加します。

---

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SECURITY.EXE
- [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SECURITY.STB
- [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001014184、75-13-2471



### 3.2.44 SYS\$GETDVI あるいは LIB\$GETDVI に対する正しくないアイテムコードがエラー動作を引き起こす問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

アイテムコードの境界条件を正しくチェックするようにシステムサービスが修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001210972

### 3.2.45 長い Unicode ファイル名のファイルで %RMS-F-SYN エラーによりシステムサービス \$GET\_SECURITY および \$SET\_SECURITY が失敗する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

ODS-5 ボリュームでは、OpenVMS Extended File Specifications により、ファイル名は最大 118 までの Unicode 文字をサポートしています。入力オブジェクト・クラスが FILE で、オブジェクト名が 40 を超える Unicode 文字を含むファイル名の場合、\$GET\_SECURITY および \$SET\_SECURITY が %RMS-F-SYN エラーで失敗するという問題がありました。

長い Unicode 名に対応するようにコードが修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB

この問題を報告している PTR ケース：

75-13-2424

### 3.2.46 F\$DEVICE がユニット番号 32767 を超える TNA デバイスを表示しない問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

ユニット番号 32767 を超える TNA デバイスを表示するようにコードが修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES.EXE
- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001215206

3.2.47 SYS\$UPDSEC\_64W で I/O が実行されなかった場合にいつまでも待機状態になる問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

Oracle の PO Slave プロセスが LEF 状態でハングする場合があります。

グローバルセクションをアップデートするために SYS\$UPDSEC\_64W がコールされたが、(セクションページが変更されていないあるいはセクションページが予約メモリセクションの一部であるなどの理由で) 書き込みが必要ない場合、I/O が実行されたものと想定してシステムサービスがいつまでも待機状態になるという問題がありました。

現在は、システムサービスが SSS\_NOMODIFIED を返した場合、そのリクエストに対しては I/O が実行されなかったことを認識し、すぐにコール元に戻ります。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース：

QXCM1001229399、75-13-2393、75-126-276

3.2.48 マルチスレッドアプリケーションが一時的にハングする問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

内部モードセマフォを待つほとんどのスレッドでマルチスレッドアプリケーションが一時的にハングするという問題がありました。このハングは、グローバルデータ構造体をアップデートする際の競合状態のため発生していました。本キットでは、このハングをもたらす競合状態を修正しています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001204927、QXCM1001186742

### 3.2.49 ROPRAND フォールトで INSQxIL および REMQxIL ルーチンが失敗する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

本キットにより、INSQxIL および REMQxIL ルーチンが返す ROPRAND フォールトが修正されています。この問題は、処理されるヘッダおよびエントリが異なるアドレス空間 (P0 と S0 など) にある場合に発生します。

この問題は本キットで解決されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001206425、75-13-2531

### 3.2.50 パケットがノンページプールの通常の境界を越えてシステムクラッシュが発生する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

## VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題

### 3.2 解決される問題

問題の説明：

マルチプロセッサシステムにおけるノンページプールの拡張において、まれに NPAGEVIR の限界を越えてノンページプールが拡張される場合があります。この現象により Pool Ring History バッファでパケットが重なり、その結果、ノンページプール関連のバグチェックをもたらす場合があります。

ノンページプール拡張ルーチンに存在したタイミングウィンドウ (タイミング幅) がクローズされています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：  
QXCM1001198846、75-126-259

#### 3.2.51 FILCNTNONZ バグチェックによるシステムクラッシュ

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

この修正は FILCNTNONZ バグチェックを避けるための回避策です。プロセスにチャンネルが割り当てられたままの状態が残るため、プロセスのランダウン中に FILCNTNONZ が発生する可能性があります。比較的発生がまれなこの状況に対してクラッシュを発生させるのではなく、プロセス名を FILCNTNONZ\_xxx に変更して (オリジナルの名前はスタック上に残す)、プロセスの優先順位を 0 に落とし、システムに対する影響を減少させるために RWAST 待ち状態にします。この状態でいずれかのプロセスのスタックを一掃するには、適切なタイミングでリブートの予定を入れることが必要になります。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001188471

### 3.2.52 \$GETTIM\_PREC()が以前の呼び出し時よりも早い時間を返す問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

特定の状況において、\$GETTIM\_PREC()が返す時間が、それ以前の呼び出しで返される値よりも早いという現象が発生していました。この現象は、このシステムサービスが短い間隔で連続して呼び出される場合に発生していました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSS\$LDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：

QXCM1001194533、75-126-289

### 3.2.53 同じプロセス内あるいは別のプロセスからの複数のシグナルを処理する際にまれにプロセスがクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

あるシグナルまたは例外を処理している時に、同じプロセス内で別のシグナルが発行されたり別のプロセスからシグナルが送られてくると、プロセスがクラッシュする場合があります。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]EXCEPTION.EXE
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION.STB
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している Quix ケース :

QXCM1001155018、 QXCM1000994840、 QXCM1001166426

### 3.2.54 断続的な INVEXCEPTN および INCONMMGST バグチェック

キット名 : VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明 :

予約済のメモリヘグローバルセクションをマッピングしているシステムは、以下に示すキットをインストールした後に領域あるいは RMS グローバルバッファを削除すると、メモリ管理に関するバグチェックを経験する場合があります。

- VMS83I\_SYS-V1900、 VMS83I\_UPDATE-V1600 あるいは VMS83I\_UPDATE-V1700
- VMS831H1I\_SYS-V1600、 VMS831H1I\_UPDATE-V1200 あるいは VMS831H1I\_UPDATE-V1300
- VMS84I\_SYS-V0200、 VMS84I\_UPDATE-V0700 あるいは VMS84I\_UPDATE-V0800

この問題は、コードの異なる部分での INVEXCEPTN あるいは INCONMMGST バグチェックとして現れることがありました。以下に示すようないくつかの状況で、プログラムカウンタがフェールする可能性があります。

- SYS\$VM+63E20 で INVEXCEPTN バグチェック (V8.3-1H1)
- SYS\$VM+62E30 で INVEXCEPTN バグチェック SYS\$VM+62E30 (V8.4)
- PROCESS\_MANAGEMENT+9EC00 で INCONMMGST バグチェック (V8.3-1H1)
- PROCESS\_MANAGEMENT+92270 で INCONMMGST バグチェック (V8.4 + 25-SEP-2012 にサイドビルドされた SYS\$VM イメージ)
- SYS\$VM+64BB0 で INCONMMGST バグチェック (V8.4)

この問題は解決されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース :

QXCM1001229469、 QXCM1001233544、 QXCM1001236248、  
QXCM1001240650、 QXCM1001241634、 QXCM1001246146、  
QXCM1001246762、 QXCM1001247907、 75-72-65

### 3.2.55 IO\_ROUTINES+E0300 での AUDIT\_SERVER SSRVEXCEPT クラッシュ

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

AUDIT\_SERVER に存在するタイミングウィンドウ (タイミング幅) でもはや有効でないボリューム制御ブロック (VCB) にアクセスしようとしてしていたことがわかりました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース：

QXCM1001180606、75-126-196

### 3.2.56 I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM の実行時にブートオプションの追加が失敗する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0300

問題の説明：

OpenVMS Integrity システムで、I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM を実行することによるブートオプションの追加が、次のようなメッセージで失敗するという問題がありました。

```
efi$bcfg: Device dkc500: is not found or not local.  
Status = 3 efi$bcfg: Unable to execute the Add Option.  
Status = 3
```

この問題は解決されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001173893

### 3.2.57 authorize ユーティリティで PGFLQUO フィールドの表示が 1 文字分右にシフトするという問題

キット名：VMS84I\_UAF-V0100

## VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題

### 3.2 解決される問題

問題の説明：

VMS84A\_UPDATE-V0600 のインストール後、下記のように PGFLQUO フィールドの表示が 1 文字分右にシフトするという問題がありました。

```
$ mc authorize
UAF> show system

Username: SYSTEM Owner: SYSTEM MANAGER
Account: SYSTEM UIC: [1,4] ([SYSTEM])
CLI: DCL Tables: DCLTABLES
Default: SYS$SYSROOT:[SYSMGR]
LGICMD:
Flags:
Primary days: Mon Tue Wed Thu Fri
Secondary days: Sat Sun
No access restrictions
Expiration: (none) Pwdminimum: 8 Login Fails: 0
Pwdlifetime: (none) Pwdchange: 1-JUN-2006 07:00
Last Login: 14-MAY-2012 16:42 (interactive), 14-MAY-2012 11:36 (non-
interactive)
Maxjobs: 0 Fillm: 2000 By tlm: 2000000
Maxacctjobs: 0 Shrfillm: 0 Pbytlm: 0
Maxdetach: 0 BIOlm: 10000 JTquota: 4096
Prclm: 100 DIOlm: 2000 WSdef: 8192
Prio: 4 ASTlm: 10000 WSquo: 16384
Queprio: 0 TQEIm: 1024 WSextent: 32768
CPU: (none) Enqlm: 5000 Pgflquo: 512000 << 右にシフト
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001216587

### 3.2.58 BL8x0c i2 あるいは rx2800 i2 で BAP を使い果たしシステムがクラッシュ あるいはハングする問題

キット名：VMS84I\_USB-V0100

問題の説明：

BAP プールから割り当てられたメモリを UHCI(USB コントローラ) ドライバが解放せず、これによりシステムのハングやクラッシュが発生するという問題がありました。

この問題は修正されています。



関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]SYSS\$UHCIDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$UHCIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$USBDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$USBDRIVER.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001173685、 QXCM1001186877

### 3.2.59 rx2800 i2 および BL8x0c i2 で AB552 キーボードが機能しない問題

キット名 : VMS84I\_USB-V0100

問題の説明 :

VMS84I\_UPDATE V6.0 以上で、 rx2800 i2 および BL8x0c i2 において AB552 キーボードの構成が失敗するという問題がありました。

この問題は解決されています。

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]SYSS\$HUBDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$HUBDRIVER.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001210735

### 3.2.60 rx2800 i2 あるいは BL8x0c i2 のファームウェアアップデート後に仮想キーボード/マウスが機能しない問題

キット名 : VMS84I\_USB-V0100

問題の説明 :

ファームウェアアップデートでシステムの iLO (MP) がリセットされますが、MP リセットで iLO3 ファームウェアが仮想デバイス (キーボード/マウス) を期待通りにエミュレートしないため、ファームウェアアップデート後にこれらの仮想デバイスが機能しないという問題がありました。

この問題は iLO3 のファームウェア (BL8x0c i2 用は K26.35、 rx2800 i2 用は S26.35) で解決されています。iLO ファームウェアの変更に基づいて、OpenVMS USB ドライバも修正されています。

この問題は修正されています。

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットで解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.STB

この問題を報告している Quix ケース :  
QXCM1001179282

3.2.61 ファームウェアアップデートで SYS\$KBDDRIVER の INVEXCEPTN により  
う OpenVMS システムがクラッシュする問題

キット名 : VMS84I\_USB-V0100

問題の説明 :

ファームウェアアップデートでシステムの iLO(MP) がリセットされます。MP リセットにより、仮想デバイスの構成が一旦解除され、再構成されますが、MP リセットの際に I/O の中止や完了を待たずにデバイスの構成解除が行われるため、SYS\$KBDDRIVER の NVEXCEPTN によりシステムがクラッシュする場合があります。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.STB

この問題を報告している Quix および PTR ケース :  
QXCM1001203261、QXCM1001115552、QXCM1001203261

3.2.62 システムリブート後に USB キーボードが機能しなくなる問題

キット名 : VMS84I\_USB-V0100

問題の説明 :

システムのブート中に USB キーボードが接続された場合、このキーボードの構成に失敗します。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.STB

- [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.STB

この問題を報告している PTR ケース：  
75-126-149



---

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I\_UPDATE-V0900 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、VMS84I\_UPDATE-V0900 で新たに提供するパッチキットに関する情報を提供していますが、それ以外のパッチキットによる修正についての情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_BACKUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DCL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DEBUG-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FORRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

- [SYSHLP]VMS84I\_JOBCTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOADSS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MIME-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MSCP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RAMDISK-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SORT32-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UAF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0500.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_USB-V0100.RELEASE\_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次のコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT RELEASE NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V9.0 -  
[/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V9.0 -  
/SELECT=release_note_name[/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE\_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V9.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I\_UPDATE-V0600、VMS84I\_UPDATE-V0700 および VMS84I\_UPDATE-V0800 の日本語リリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>





---

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]ACC.EXE  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "ACC"  
イメージファイルID： "X-16"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:08:23.55  
イメージ・チェックサム： 28484EA0
- [SYSEXE]LOGINOUT.EXE - ACMELOGIN kit  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "LOGINOUT"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:53:34.16  
イメージ・チェックサム： FE609706
- [SYSEXE]SETP0.EXE - ACMELOGIN kit  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "SETP0"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:54:30.43  
イメージ・チェックサム： 42BF2AD2
- [SYSEXE]ACME\_SERVER.EXE  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "ACME\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-42"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.58  
イメージ・チェックサム： 65AB664B
- [SYSEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AGEN\$FEEDBACK"  
イメージファイルID： "X-32"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:46.56  
イメージ・チェックサム： 3371A610

#### • [SYSEXE]AUDIT\_SERVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AUDIT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.11  
イメージ・チェックサム： F21A75BC

#### • [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AUTHORIZE"  
イメージファイルID： "X-32"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:29:04.25  
イメージ・チェックサム： F0AE134D

#### • [SYSEXE]BACKUP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUP"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:28:36.32  
イメージ・チェックサム： 8B354E95

#### • [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUPSHR"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:27:48.68  
イメージ・チェックサム： E8F78065

#### • [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COMPARE"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:59.35  
イメージ・チェックサム： 1CCCCAC3

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COPY"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:39.02  
イメージ・チェックサム： 7C0C5E6

• [SYSEXEC]CDDVD\$CP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$CP"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:10:22.25  
イメージ・チェックサム： D101AA6C

• [SYSMSG]CDDVD\$MESSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$MESSG"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 17:24:33.20  
イメージ・チェックサム： 33F0FBC8

• [SYSEXEC]CDU.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDU"  
イメージファイルID： "I01-11"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.42  
イメージ・チェックサム： 397B73B2

• [SYSMSG]CLIUTLMSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLIUTLMSG"  
イメージファイルID： "X-3"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:35:25.65  
イメージ・チェックサム： 7B9DF1AC

- [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:18:46.91  
イメージ・チェックサム： 81DF87CB

- [SY\$SLDR]CNX\$DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CNX\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:47.78  
イメージ・チェックサム： 7323B449

- [SYSEXEXE]CONVERT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVERT"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:35.15  
イメージ・チェックサム： 29501629

- [SYSLIB]CONVSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVSHR"  
イメージファイルID： "X1-012"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:30:46.01  
イメージ・チェックサム： 6B40D389

- [SYSEXEXE]COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "COPY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.31  
イメージ・チェックサム： 46E9F9D

• [SYSLIB]DBG\$HA\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:31.81  
イメージ・チェックサム： F15DFC01

• [SYSLIB]DBG\$HA\_MAIN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_MAIN"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:27.88  
イメージ・チェックサム： 26E710E6

• [SYSEXE]DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:12.51  
イメージ・チェックサム： E58D00ED

• [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:15.06  
イメージ・チェックサム： 20F2A7EC

• [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:16.92  
イメージ・チェックサム： B549FCE7

- [SYSMMSG]DBGTBKMSG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGTBKMSG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.10  
イメージ・チェックサム： 18D626C7

- [SYSLIB]DCE\$LIB\_SHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DCE\$LIB\_SHR"  
イメージファイルID： "DCE V3.2-100509"  
リンカーID： "Linker I02-17"  
リンク日時： 10-MAY-2010 02:54:11.62  
イメージ・チェックサム： 1E7AB502

- [SYSEXEXE]DCL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DCL"  
イメージファイルID： "X-55"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000086"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2012 12:39:40.87  
イメージ・チェックサム： 88EC702D

- [SYSLIB]DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:07.10  
イメージ・チェックサム： 243C847E

- [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:39.26  
イメージ・チェックサム： F52B8527

• [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSRVSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:01.54  
イメージ・チェックサム： E8516CBD

• [SYSLIB]DEBUGISHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGISHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.02  
イメージ・チェックサム： A088619A

• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$BASRTL"  
イメージファイルID： "V01-037"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:33:18.80  
イメージ・チェックサム： 75945AF4

• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$FORRTL"  
イメージファイルID： "V01-07.004"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-FEB-2012 12:58:49.90  
イメージ・チェックサム： AFAA15AA

• [SYSLIB]DEC\$SHR.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHR"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000094"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-DEC-2012 10:03:17.83  
イメージ・チェックサム： 500229EB

#### • [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHRP"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000094"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-DEC-2012 10:03:16.74  
イメージ・チェックサム： CB7DB68F

#### • [SYSEXE]DELETE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DELETE"  
イメージファイルID： "X-05"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.37  
イメージ・チェックサム： 101CEC7D

#### • [SYSEXE]DIFF.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIFF"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.22  
イメージ・チェックサム： 2D361DA1

#### • [SYSEXE]DIRECTORY.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIRECTORY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.48  
イメージ・チェックサム： 4AE1F8CB

#### • [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "DPML\$SHR"  
イメージファイルID： "T01-018"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:15:22.89  
イメージ・チェックサム： B2865D89

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EDTSHR"  
イメージファイルID： "1-050"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:15:26.98  
イメージ・チェックサム： 28651612

• [SYSEXE]EFISBCFG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EFISBCFG"  
イメージファイルID： "X-43"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:54.84  
イメージ・チェックサム： 6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYP\$HR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYP\$HR"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:30:31.13  
イメージ・チェックサム： F1A8341D

• [SYSEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$AUTH"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000102"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2013 11:32:18.31  
イメージ・チェックサム： 9F234F4B

• [SYSM\$G]ENCRYPT\$\_MSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$MSG"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:32.41  
イメージ・チェックサム： A147CE2E

- [SYSEXE]ERRFMT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRFMT"  
イメージファイルID： "X-22"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:37.32  
イメージ・チェックサム： 670DAF21

- [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRORLOG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.30  
イメージ・チェックサム： 4696DD8F

- [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:30.82  
イメージ・チェックサム： E233484A

- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:32.38  
イメージ・チェックサム： E233484A

- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EXEC\_INIT"  
イメージファイルID： "X-217"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-FEB-2012 17:02:59.42  
イメージ・チェックサム： B78E5364

• [SYSSLDR]F11BXQP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11BXQP"  
イメージファイルID： "XQP V84R\_RE CFI"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000083"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-AUG-2012 14:23:12.47  
イメージ・チェックサム： 459E6D83

• [SYSEXE]F11CACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11CACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:16.63  
イメージ・チェックサム： 858832A3

• [SYSEXE]F11DACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11DACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:17.63  
イメージ・チェックサム： 12EC70DC

• [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:50.37  
イメージ・チェックサム： 5DD7CEA3

• [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$SDA"  
イメージファイルID： "X-8A1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:51.09  
イメージ・チェックサム： 63800810

- [SYSLIB]I64\_CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:54.95  
イメージ・チェックサム： 8972E72D

- [SYSEXE]I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:13.42  
イメージ・チェックサム： D4EC58D6

- [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ICC\$SDA"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:17:47.51  
イメージ・チェックサム： 945326A5

- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IMAGE\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:12.68  
イメージ・チェックサム： 102AE8D0

- [SYSLIB]IMGDMP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IMGDMP"  
イメージファイルID： "X-72"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:09.05  
イメージ・チェックサム： C088596

• [SYSEXE]INDICTMENT\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INDICTMENT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:16.86  
イメージ・チェックサム： 3DA25BA

• [SYSEXE]INSTALL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INSTALL"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:25.51  
イメージ・チェックサム： E5727767

• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO\_CONFIG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$AVIO\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.35  
イメージ・チェックサム： 983985BC

• [SYSLIB]IOGEN\$CISS\_CONFIG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$CISS\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-10"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:56:32.36  
イメージ・チェックサム： 1A93E0A7

• [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE\_CONFIG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$FIBRE\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-39"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:49:45.45  
イメージ・チェックサム： DDEB4425

#### • [SYSLIB]IOGEN\$ISA\_CONFIG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$ISA\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-21"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:07:19.51  
イメージ・チェックサム： A82BC75

#### • [SYSLIB]IOGEN\$SCSI\_CONFIG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$SCSI\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.56  
イメージ・チェックサム： 58D28E83

#### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:44.91  
イメージ・チェックサム： 4014A1B9

#### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:54.53  
イメージ・チェックサム： 64A9BC9D

#### • [SYSEXE]IPB.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB"  
イメージファイルID： "X-4"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:44:42.63  
イメージ・チェックサム： 138D1C8

• [SYSEXE]IPB\_NOXDELTA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB\_NOXDELTA"  
イメージファイルID： "X-4"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:42.13  
イメージ・チェックサム： 8E9E08DD

• [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "JBC\$JOB\_CONTROL"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000082"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-AUG-2012 13:49:47.73  
イメージ・チェックサム： 16861EF4

• [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LAN\$SDA"  
イメージファイルID： "X-64"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-DEC-2012 10:06:48.61  
イメージ・チェックサム： 9EB6A973

• [SYSEXE]LANACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LANACP"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:09.46  
イメージ・チェックサム： 981E18DE

• [SYSEXE]LANCP.EXE

イメージ識別情報：

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "LANCP"  
イメージファイルID: "X-92"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-OCT-2010 16:33:06.62  
イメージ・チェックサム: E17E8D49

- [SYSLIB]LBRSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LBRSHR"  
イメージファイルID: "I01-42"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:03:54.62  
イメージ・チェックサム: FCC80C2A

- [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LCK\$SDA"  
イメージファイルID: "X-28"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:58:37.95  
イメージ・チェックサム: E9B49F54

- [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LDAP\$SHR"  
イメージファイルID: "LDAP V2.0-05000"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 22-SEP-2010 17:49:36.81  
イメージ・チェックサム: A9793D82

- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR"  
イメージファイルID: "LDAP-STD V01.05"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:06.96  
イメージ・チェックサム: AD1BBD12

- [SYSLIB]LIBOTS.EXE

イメージ識別情報:



イメージ名: "LIBOTS"  
イメージファイルID: "V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000100"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 22-FEB-2013 13:10:51.49  
イメージ・チェックサム: 87BBA7D9

• [SYSLIB]LIBRTL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LIBRTL"  
イメージファイルID: "X01-001"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000100"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 22-FEB-2013 13:10:51.88  
イメージ・チェックサム: 992B8504

• [SYSEXE]LMF.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LMF"  
イメージファイルID: "X-26"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:11.29  
イメージ・チェックサム: 405DCFD

• [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LNM\$DEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:01.15  
イメージ・チェックサム: 5978A650

• [SYSLIB]LNM\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LNM\$SDA"  
イメージファイルID: "X-14"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 23-MAY-2011 12:08:52.91  
イメージ・チェックサム: 677D3AF6

• [SYSSLDR]LOCKING.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "LOCKING"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:38.85  
イメージ・チェックサム: 7606F20E

- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LOGICAL\_NAMES"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:51.05  
イメージ・チェックサム: 45A4DBF

- [SYSEXEXE]LOGINOUT.EXE - LOGIN kit

イメージ識別情報:

イメージ名: "LOGINOUT"  
イメージファイルID: "X-54"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000072"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 10-APR-2012 11:53:32.77  
イメージ・チェックサム: 78A5B7E

- [SYSEXEXE]MACRO.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MACRO"  
イメージファイルID: "50-120-5-50F9M"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:12.29  
イメージ・チェックサム: 85290640

- [SYSEXEXE]MAIL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MAIL"  
イメージファイルID: "V1.06"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:53.38  
イメージ・チェックサム: 7A9C36D0

- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MESSAGE\_ROUTINES"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:47:00.72  
イメージ・チェックサム: 2E2247D9

• [SYSEXE]MIME.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MIME"  
イメージファイルID: "V1.93"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000074"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-MAY-2012 13:19:40.01  
イメージ・チェックサム: 663A67EE

• [SYSEXE]MONITOR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MONITOR"  
イメージファイルID: "X-26"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:23.93  
イメージ・チェックサム: AD6E966A

• [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MOUNTSHR"  
イメージファイルID: "X-9"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000116"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 17-SEP-2013 17:17:37.80  
イメージ・チェックサム: C5546739

• [SYSEXE]MSA\$UTIL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MSA\$UTIL"  
イメージファイルID: "X-34"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000090"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-NOV-2012 18:02:54.39  
イメージ・チェックサム: 520CDF5

• [SYSSLDR]MSCP.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "MSCP"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-JAN-2012 16:13:28.11  
イメージ・チェックサム: 6E66B3B1

- [SYSEXE]MTAAACP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MTAAACP"  
イメージファイルID: "X-12"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:58.55  
イメージ・チェックサム: 97B1EE3E

- [SYS\$LDR]NET\$CSMACD.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:12.34  
イメージ・チェックサム: AEBE3327

- [SYSEXE]OPCOM.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "OPCOM"  
イメージファイルID: "X-16"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000080"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUL-2012 10:04:07.81  
イメージ・チェックサム: F3A17E70

- [SYSLIB]PE\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PE\$SDA"  
イメージファイルID: "X-23"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 17:41:40.77  
イメージ・チェックサム: AF74A4AB

- [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PKM\$SDA"  
イメージファイルID: "X-29"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 6-JUL-2010 19:03:08.50  
イメージ・チェックサム: 7C814B0B

• [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PKR\$SDA"  
イメージファイルID: "X-14"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000090"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-NOV-2012 18:02:56.14  
イメージ・チェックサム: E945AF58

• [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PRF\$DEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:14.50  
イメージ・チェックサム: B95D9D6F

• [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PRF\$SDA"  
イメージファイルID: "X-27"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:12:03.64  
イメージ・チェックサム: 5A37FC1

• [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PROCESS\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:47:04.10  
イメージ・チェックサム: 12315F35

• [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "PROCESS\_MANAGEMENT\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:47:09.00  
イメージ・チェックサム: 88D788FD

- [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PTHREAD\$DBGSHR"  
イメージファイルID: "V3.22-095"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:16:48.07  
イメージ・チェックサム: 7F892FAD

- [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "PTHREAD\$RTL"  
イメージファイルID: "V3.22-095"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:16:47.68  
イメージ・チェックサム: FCE15062

- [SYSEXE]QMAN\$QUEUE\_MANAGER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "QMAN\$QUEUE\_MANAGER"  
イメージファイルID: "X-3"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 17:41:09.01  
イメージ・チェックサム: DDA8CCED

- [SYSEXE]QUEMAN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "QUEMAN"  
イメージファイルID: "X02-01"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000102"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-MAR-2013 11:33:18.74  
イメージ・チェックサム: 39279152

- [SYSEXE]RECLAIM.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "RECLAIM"  
イメージファイルID: "X-6"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:36.50  
イメージ・チェックサム: 19AFE135

• [SYSEXE]RECOVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "RECOVER"  
イメージファイルID: "X01-03"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:46:50.50  
イメージ・チェックサム: 2EF02AAC

• [SYS\$LDR]RMS.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "RMS"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000086"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-OCT-2012 12:39:52.07  
イメージ・チェックサム: 3E81F530

• [SYSEXE]RMSREC\$SERVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "RMSREC\$SERVER"  
イメージファイルID: "X-14"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:46:53.10  
イメージ・チェックサム: 50A4A493

• [SYSEXE]SCACP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SCACP"  
イメージファイルID: "X-38"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000080"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUL-2012 10:03:57.49  
イメージ・チェックサム: CB492413

• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SDA\$SHARE"  
イメージファイルID: "X-2"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000101"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-MAR-2013 12:21:38.98  
イメージ・チェックサム: 55F99C26

- [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SDARMS\$SHARE"  
イメージファイルID: "X-7"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:23.59  
イメージ・チェックサム: 386DE222

- [SYSEXE]SEARCH.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SEARCH"  
イメージファイルID: "X02-09"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 20-OCT-2010 18:17:55.08  
イメージ・チェックサム: B6C7EED9

- [SYSLIB]SECURESHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SECURESHR"  
イメージファイルID: "X-13"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000081"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 27-JUL-2012 12:31:09.37  
イメージ・チェックサム: 647BB1DE

- [SYSLIB]SECURESHRP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SECURESHRP"  
イメージファイルID: "X-9"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000081"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 27-JUL-2012 12:31:08.05  
イメージ・チェックサム: AD77852C

- [SYSSLDR]SECURITY.EXE

イメージ識別情報:



イメージ名: "SECURITY"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:46:30.90  
イメージ・チェックサム: D02A81BE

• [SYSSLDR]SECURITY\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SECURITY\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:46:36.07  
イメージ・チェックサム: 30488399

• [SYSEXEXE]SET.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SET"  
イメージファイルID: "X02-00"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000068"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-MAR-2012 10:36:35.09  
イメージ・チェックサム: D9FAA0C1

• [SYSEXEXE]SETP0.EXE - LOGIN kit

イメージ識別情報:

イメージ名: "SETP0"  
イメージファイルID: "X-3K2"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000072"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 10-APR-2012 11:54:30.78  
イメージ・チェックサム: 215EB1E7

• [SYSEXEXE]SETSHOSERVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SETSHOSERVER"  
イメージファイルID: "X-2"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:35:25.04  
イメージ・チェックサム: FCB8703F

• [SYSEXEXE]SETSHOSHADOW.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SETSHOSHADOW"  
イメージファイルID: "X-02"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000116"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 17-SEP-2013 17:22:12.11  
イメージ・チェックサム: F385B9E8

- [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHADOW\_SERVER"  
イメージファイルID: "X-29"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:47.27  
イメージ・チェックサム: 6D515BCD

- [SYSSLDR]SHELL16K.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHELL16K"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:10.39  
イメージ・チェックサム: B1DC91B0

- [SYSSLDR]SHELL32K.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHELL32K"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:13.44  
イメージ・チェックサム: 73F34B95

- [SYSSLDR]SHELL64K.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHELL64K"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:15.75  
イメージ・チェックサム: E62635F8

- [SYSSLDR]SHELL8K.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHELL8K"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:05.90  
イメージ・チェックサム: 5C0A23FF

• [SYSEXE]SHOW.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHOW"  
イメージファイルID: "X-8"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:19:28.98  
イメージ・チェックサム: 20FA83BE

• [SYSEXE]SHWCLSTR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SHWCLSTR"  
イメージファイルID: "X-27"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:59:12.78  
イメージ・チェックサム: 3A7043B9

• [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SMBSRVSHR"  
イメージファイルID: "X-6"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000102"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-MAR-2013 11:31:21.86  
イメージ・チェックサム: 45E34BD3

• [SYSLIB]SMGSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SMGSHR"  
イメージファイルID: "SMG\$ X1.0-001"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:56:20.10  
イメージ・チェックサム: 2DD21893

• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SMI\$OBJSHR"  
イメージファイルID: "X40-A9"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:41.28  
イメージ・チェックサム: D889DCB5

- [SYSLIB]SMIS\$HR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SMI\$SHR"  
イメージファイルID: "X01-04"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:37.75  
イメージ・チェックサム: 2689105E

- [SYSEX]SMISERVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SMISERVER"  
イメージファイルID: "X01-15"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:46.89  
イメージ・チェックサム: 5EFEDD90

- [SYSEX]SMPUTIL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SMPUTIL"  
イメージファイルID: "X-30"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:10:06.48  
イメージ・チェックサム: 4ECACE4

- [SYSEX]SORTMERGE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SORTMERGE"  
イメージファイルID: "V08-014"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:22.07  
イメージ・チェックサム: 25CCC85E

- [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SORTSHR"  
イメージファイルID: "V08-013"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000077"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 18-JUN-2012 13:58:52.15  
イメージ・チェックサム: 2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SPL\$SDA"  
イメージファイルID: "X-43"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:11:24.22  
イメージ・チェックサム: 1E5B7D4B

• [SYS\$LDR]SWIS\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SWIS\$DEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:29.86  
イメージ・チェックサム: E4C99ED7

• [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SWIS\$SDA"  
イメージファイルID: "X-6"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:31.90  
イメージ・チェックサム: 524C27CD

• [SYS\$LDR]SYS\$BASE\_IMAGE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$BASE\_IMAGE"  
イメージファイルID: "IA64 XCFR-J2I"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000101"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-MAR-2013 12:18:04.88  
イメージ・チェックサム: 80641649

• [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$CLUSTER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:07:05.01  
イメージ・チェックサム: 66CA2B53

- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$CLUSTER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:07:24.22  
イメージ・チェックサム: 234332F7

- [SYS\$LDR]SYS\$CMDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$CMDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:46:55.59  
イメージ・チェックサム: C96897F

- [SYS\$LDR]SYS\$CTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$CTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:18:12.31  
イメージ・チェックサム: 53813CDB

- [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DADDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 17:41:29.03  
イメージ・チェックサム: 9A2553B8

- [SYS\$LDR]SYS\$DKBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DKBTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000072"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-APR-2012 13:59:41.29  
イメージ・チェックサム: 7344110D

• [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DKDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000098"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-FEB-2013 15:34:39.62  
イメージ・チェックサム: 819B2B8

• [SYS\$LDR]SYS\$DNDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DNDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:36.29  
イメージ・チェックサム: 644C8CD6

• [SYS\$LDR]SYS\$DQDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DQDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000069"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-MAR-2012 18:18:57.12  
イメージ・チェックサム: F8BE3F77

• [SYS\$LDR]SYS\$DZCDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$DZCDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:58:46.35  
イメージ・チェックサム: ECE337BB

• [SYS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$EHCIDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 20-OCT-2010 18:18:08.54  
イメージ・チェックサム: BB806079

- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EI1000DRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:36.84  
イメージ・チェックサム: 1A05CB74

- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EI1000DRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:37.30  
イメージ・チェックサム: 8853FD7

- [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EIDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-SEP-2010 16:28:07.44  
イメージ・チェックサム: 3EE9231A

- [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EIDRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-SEP-2010 16:28:07.87  
イメージ・チェックサム: 86A65966

- [SYS\$LDR]SYS\$EIGBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:



イメージ名: "SYS\$EIGBTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 15-SEP-2010 15:50:51.03  
イメージ・チェックサム: B66A8957

• [SYS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム: 2ACF2378

• [SYS\$LDR]SYS\$ER57711\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム: EB587791

• [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EW5700DRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:35.75  
イメージ・チェックサム: 6DF5C2C1

• [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EW5700DRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:36.25  
イメージ・チェックサム: 215277F3

• [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム: 2ACF2378

- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム: EB587791

- [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EWXFRAMEDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-OCT-2010 16:33:17.81  
イメージ・チェックサム: 23C180CD

- [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$EWXFRAMEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-OCT-2010 16:33:18.20  
イメージ・チェックサム: B64AAFCD

- [SYS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$FGEDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000098"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-FEB-2013 15:35:00.03  
イメージ・チェックサム: A0517CD8

- [SYS\$LDR]SYS\$GHDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$GHDRIVER"  
イメージファイルID: "DW V8.4-100903"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:59:16.70  
イメージ・チェックサム: 9D71158B

• [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$GLDRIVERDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 20-OCT-2010 18:18:47.42  
イメージ・チェックサム: E58D5824

• [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$GLDRIVERDRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 20-OCT-2010 18:18:50.51  
イメージ・チェックサム: DC02EB42

• [SYS\$LDR]SYS\$GSPBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$GSPBTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:58:27.30  
イメージ・チェックサム: 8D292EB3

• [SYS\$LDR]SYS\$GSPDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$GSPDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:50.38  
イメージ・チェックサム: 8819DE61

• [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$HIDDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:28.55  
イメージ・チェックサム: 16BEF158

- [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$HUBDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:30.33  
イメージ・チェックサム: 86E3F8C1

- [SYS\$LDR]SYS\$HWP0001.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$HWP0001"  
イメージファイルID: "X-35"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:10:27.37  
イメージ・チェックサム: 3083FF7

- [SYS\$LDR]SYS\$HWP0004.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$HWP0004"  
イメージファイルID: "X-35"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:10:30.81  
イメージ・チェックサム: BEFFC254

- [SYS\$LDR]SYS\$IKUDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$IKUDRIVER"  
イメージファイルID: "DW V8.4-101104"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 18:16:07.43  
イメージ・チェックサム: 3D49C68C

- [SYS\$LDR]SYS\$IKXDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$IKXDRIVER"  
イメージファイルID: "DW V8.4-101104"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 18:15:47.02  
イメージ・チェックサム: 8C69C757

• [SYS\$LDR]SYS\$IMUDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$IMUDRIVER"  
イメージファイルID: "DW V8.4-101104"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 18:16:13.84  
イメージ・チェックサム: 9FF28778

• [SYS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$IPC\_SERVICES"  
イメージファイルID: "V1.3-X03E-XCFR"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000115"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2013 15:22:32.40  
イメージ・チェックサム: FFAB881E

• [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$KBDDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:33.40  
イメージ・チェックサム: 5F935882

• [SYS\$LDR]SYS\$LAN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$LAN"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:42.86  
イメージ・チェックサム: C7EEB01

• [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$LAN\_CSMACD"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:44.68  
イメージ・チェックサム: 8CFF4488

- [SYS\$LDR]SYS\$LASTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$LASTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 6-JUL-2010 19:02:07.00  
イメージ・チェックサム: EE4DD88B

- [SYS\$LDR]SYS\$LLDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$LLDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:50:08.84  
イメージ・チェックサム: 2F9ACFD8

- [SYS\$LDR]SYS\$MDDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$MDDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000074"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-MAY-2012 13:19:43.36  
イメージ・チェックサム: 1319C9AB

- [SYS\$LDR]SYS\$MKDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$MKDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:50:07.12  
イメージ・チェックサム: 178ABECA

- [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$OHCIDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:36.05  
イメージ・チェックサム: 600DB6BD

• [SYS\$LDR]SYS\$PCIE\_SUPPORT.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PCIE\_SUPPORT"  
イメージファイルID: "X-35"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:10:53.70  
イメージ・チェックサム: BFFB6434

• [SYS\$LDR]SYS\$PCI\_SUPPORT.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PCI\_SUPPORT"  
イメージファイルID: "X-35"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000000"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 14-MAY-2010 23:10:20.78  
イメージ・チェックサム: DF096D31

• [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PEDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000077"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 18-JUN-2012 14:02:12.16  
イメージ・チェックサム: F1398C6E

• [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000077"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 18-JUN-2012 14:02:24.92  
イメージ・チェックサム: 13A68DEE

• [SYS\$LDR]SYS\$PGADRIVER.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$PGADRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000090"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-NOV-2012 18:02:43.37  
イメージ・チェックサム: A7BF9A35

- [SYS\$LDR]SYS\$PGQBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PGQBTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:48.71  
イメージ・チェックサム: A295000C

- [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PGQDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000098"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-FEB-2013 15:34:54.79  
イメージ・チェックサム: C6FEE403

- [SYS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PKDDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 9-SEP-2011 13:36:15.09  
イメージ・チェックサム: B514E52C

- [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PKMDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000098"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-FEB-2013 15:34:48.38  
イメージ・チェックサム: FB9A5329

- [SYS\$LDR]SYS\$PKRBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報:



イメージ名: "SYS\$PKRBTDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000073"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 17-APR-2012 20:44:43.99  
イメージ・チェックサム: B05474E1

• [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PKRDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000090"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-NOV-2012 18:02:38.48  
イメージ・チェックサム: E322DA7

• [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PKWDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 15-SEP-2010 15:51:10.63  
イメージ・チェックサム: D54F31DE

• [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$PLATFORM\_SUPPORT"  
イメージファイルID: "X-35"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000115"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2013 15:22:31.30  
イメージ・チェックサム: 641EA930

• [SYS\$LIB]SYS\$SETBOOTSHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$SETBOOTSHR"  
イメージファイルID: "SB V6.0-1"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:57:19.00  
イメージ・チェックサム: 53D38BCD

• [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYS\$SHDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000116"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 17-SEP-2013 17:22:07.61  
イメージ・チェックサム: 41A8065B

- [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$SRDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:18:12.96  
イメージ・チェックサム: 51BE4C5

- [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$TRANSACTION\_SERVICES"  
イメージファイルID: "V2.1-X035-XCBE"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 30-SEP-2010 11:00:42.87  
イメージ・チェックサム: E27F8FDA

- [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$UGDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 23-MAY-2011 12:09:08.68  
イメージ・チェックサム: A71A64C6

- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$UHCIDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:38.21  
イメージ・チェックサム: 70AD4BB8

- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$USBDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000089"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 29-OCT-2012 17:14:31.87  
イメージ・チェックサム: AAD4A2E2

• [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$VLANDRIVER"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000094"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-DEC-2012 10:06:28.03  
イメージ・チェックサム: A718E076

• [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$VM"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:46:59.41  
イメージ・チェックサム: 5D9D6EB0

• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$XFCACHE"  
イメージファイルID: "V1.0"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:18:12.01  
イメージ・チェックサム: D551A831

• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYS\$XFCACHE\_MON"  
イメージファイルID: "V1.0"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:18:13.80  
イメージ・チェックサム: 718A5C48

• [SYSEXE]SYSBOOT.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYSBOOT"  
イメージファイルID: "X-154"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:53.30  
イメージ・チェックサム: 379E7EC5

- [SYSEXE]SYSGEN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSGEN"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-NOV-2010 17:41:02.20  
イメージ・チェックサム: F8361FE8

- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSGETSYI"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:29.79  
イメージ・チェックサム: 73E9C6B1

- [SYSEXE]SYSINIT.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSINIT"  
イメージファイルID: "X-128"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:07:00.32  
イメージ・チェックサム: 2527AE0E

- [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSLDR\_DYN"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:31.51  
イメージ・チェックサム: 7DCF2B47

- [SYSEXE]SYSMAN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSMAN"  
イメージファイルID: "X01-22"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:44.40  
イメージ・チェックサム: B1C5F015

• [SYSMMSG]SYSMGTMSG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSMGTMSG"  
イメージファイルID: "X-4"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000068"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-MAR-2012 10:35:26.73  
イメージ・チェックサム: F5F818D0

• [SYSMMSG]SYSMMSG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSMMSG"  
イメージファイルID: "X-9"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000069"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUL-2012 10:03:48.70  
イメージ・チェックサム: 9CA105D3

• [SYSS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSTEM\_DEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:46:51.90  
イメージ・チェックサム: 2CB6F89A

• [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSTEM\_PRIMITIVES"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:47:09.29  
イメージ・チェックサム: F1723F48

• [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000096"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 7-JAN-2013 11:47:12.36  
イメージ・チェックサム: 941CFB4B

- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:46:52.40  
イメージ・チェックサム: 161C2D6A

- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:46:50.40  
イメージ・チェックサム: D14A8BAA

- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000001"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:46:53.59  
イメージ・チェックサム: D6B3BD38

- [SYSS\$LDR]TR\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "TR\$DEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:28.03  
イメージ・チェックサム: 52C5C475

- [SYSLIB]TR\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "TR\$SDA"  
イメージファイルID: "X-18"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:28.48  
イメージ・チェックサム: 581D8D55

• [SYSLIB]TRACE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "TRACE"  
イメージファイルID: "V8.3-003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-MAR-2011 12:16:03.43  
イメージ・チェックサム: C71D9CD2

• [SYSEXE]TYPE.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "TYPE"  
イメージファイルID: "X-28"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:50:54.13  
イメージ・チェックサム: 33BD59CC

• [SYSTEST]UETINIT00.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "UETINIT00"  
イメージファイルID: "X-48"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:24.84  
イメージ・チェックサム: 87C4672D

• [SYSLIB]USB\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "USB\$SDA"  
イメージファイルID: "X-34"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 1-JUL-2011 15:18:27.10  
イメージ・チェックサム: BDAC4346

• [SYSEXE]VERIFY.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "VERIFY"  
イメージファイルID: "X-28"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:50:02.44  
イメージ・チェックサム: 351D0CC5

- [SYSLIB]VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM"  
イメージファイルID: "X-20"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:08.44  
イメージ・チェックサム: 2F17FA11

- [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "VMS\$VMS\_ACMESHR"  
イメージファイルID: "V1.0"  
リンカーID: "Linker I02-38"  
リンク日時: 29-OCT-2012 14:37:17.25  
イメージ・チェックサム: 2BDD6483

- [SYSEXE]VMSHELP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "VMSHELP"  
イメージファイルID: "X-4"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:58:20.35  
イメージ・チェックサム: E616A288

- [SYSUPD]ACCOUNTIN.HLP

- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF

- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT

- [SYSHLP]ACME\_DEV\_README.TXT

- [SYSUPD]ANALYZE.HLP

- [SYSUPD]AUTOGEN.COM

- [SYSUPD]AUTOGEN\_LM.COM

- [SYSUPD]BACKUP.CLD

- [SYSUPD]BACKUP.HLP

- [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB

- [SYSMGR]BOOT\_OPTIONS.COM



- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG\_LAN.COM
- [SYSSLDR]CNX\$DEBUG.STB
- [SYSUPD]COPY.CLD
- [SYSUPD]CRTL.HLP
- [SYSLIB]CXXL\$ANSI\_DEF.TLB
- [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
- [SYSUPD]DCLDICT.HLP
- [SYSUPD]DECC\$RTLDEF.FOR\_RELEASE
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_3DES.C
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.R32
- [SYSSLDR]ERRORLOG.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.STB
- [SYSSLDR]F11BXQP.STB
- [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL.COM
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.STB
- [SYSEXE]INS\_STARTUP.COM
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYSS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE
- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP\_EXAMPLE.C
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSSLDR]LNMS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]LOCKING.STB
- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA\_UTIL\_HELP.HLB
- [SYSSLDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXEXE]PCSI\_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXEXE]PCSI\_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXEXE]PING.EFI
- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSSLDR]RMS.STB
- [SYSSLDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYSSLDR]SECURITY.STB
- [SYSSLDR]SECURITY\_MON.STB
- [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.STB

- [SYSEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF
- [SYSEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.TXT
- [SYSSLDR]SHELL16K.STB
- [SYSSLDR]SHELL32K.STB
- [SYSSLDR]SHELL64K.STB
- [SYSSLDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXE]SHUTDOWN.COM
- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYSSLDR]SWISSDEBUG.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CLUSTER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CLUSTER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CTDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DADDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DNDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DQDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EI1000.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EI1000\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EIDRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW5700.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW5700\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW57711DRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$FGEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$GHDRIVER.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLDR]SYSGSPDRIVER.STB
- [SYSLDR]SYSHIDDRIVER.STB
- [SYSLDR]SYSHUBDRIVER.STB
- [SYSLDR]SYSIKUDRIVER.STB
- [SYSLDR]SYSIKXDRIVER.STB
- [SYSLDR]SYSIMUDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$IPC\_SERVICES.STB
- [SYSLDR]SY\$KBDDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$LAN.STB
- [SYSLDR]SY\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYSLDR]SY\$LASTDRIVER.STB
- [SYSLIB]SY\$LIB\_C.TLB
- [SYSLDR]SY\$LLDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$MKDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$OHCIDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PEDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSLDR]SY\$PGADRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PGQDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PKDDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PKMDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PKRDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$PKWDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$SHDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$SRDRIVER.STB
- [SYSLIB]SY\$STARLET\_C.TLB
- [SYSLDR]SY\$UGDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$UHCIDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$USBDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$VLANDRIVER.STB
- [SYSLDR]SY\$VM.STB
- [SYSLDR]SY\$XFCACHE.STB
- [SYSLDR]SY\$XFCACHE\_MON.STB

- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.STB
- [SYSUPD]SYS\_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXEC]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL\_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050\_SHADOW\_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE\_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0200\_COVER.TXT
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0500\_COVER.TXT
- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL\_LANGUAGE.COM
- [SYSEXEC]VMS\_BCFG.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_LOADER.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SET.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SHOW.EFI

